

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	服薬支援 服薬の時は、介助と確認を行っているが、本人様の誤薬(昼、夕のとり違い)や薬が床に落ちている時がある。	誤薬のない確実な内服をする。	薬を準備する職員とその薬を確認する職員を設ける。投薬する時、本人の前で声出し確認をする。	6か月
2	42	口腔内の清潔保持 ホーム入所時は、歯みがき習慣もない方がおり、食後の口腔ケアも拒否する方もいる。	口腔内の清潔保持に努め、誤嚥性肺炎を予防する。	義歯のある、なしで、口腔ケアの仕方を変える。 寝たきりの方へもバトラーを使用する。 口腔ケアを拒否する方もいるので、時間をおく等、工夫して介助する。	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	41	栄養摂取や水分確保の支援 飲食中、むせこみや嚥下困難がある。	スムーズな嚥下、咀嚼が行われるよう見守り、むせ込み時は、落ち着くまで時間をおく。	食前に嚥下体操を一緒に行う。 きざみ、ミキサー食、とろみ剤を使用する。 (日によりレベルの変化あり、一人ひとりに合わせ提供する。)	6か月
2	46	安眠や休息の支援 日中、車椅子での傾眠が多い。	一人ひとりの状況に応じて、午後は時間を決め、居室で休んでいただく。	昼食後、本人の希望や体調をみて居室誘導し、休んでいただく。 (定期的に訪室し、様子観察する。)	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。